

重度訪問介護従業者養成研修

(利用者、実習担当、受講生 共通)

※重度訪問介護従業者養成研修（基礎&追加課程）の実習説明

及び注意点 2025. 4 改定

①実習のできる期間について：

課題レポート提出と緊急時の対応及び危険防止に関する講義(オンライン講義)を受講してから、実習を行ってください。(講義受講が終了しないと実習ができません)

研修の有効期限は、原則、研修受講開始日～2か月以内です。期限が切れると、始めから受講しなおしとなります。気を付けてください。

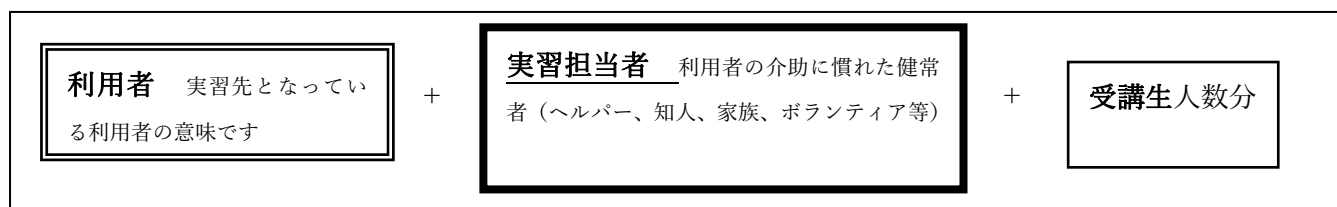
②資格研修の実習時間は10時間を2日以上(1日上限8時間)に分けて行ってください。

実習の日程、時間は、各所属の事業所または、利用者と打ち合わせ速やかに行ってください。・日付が変わる日程での、実習の場合は、利用者が就寝後に寝ているときの深夜帯の実習はできません。

③実習の方式について：「同行訪問形式」で、利用者 +実習担当者又は専属ヘルパー +受講生の3人で行います。

※利用者と、受講生だけでは実習と認められないのでNGです。

・「実習担当者」は利用者の介助に慣れている人、実習がちゃんと行われているか取りまとめができる人がなります。



・何事も「安全第一」です。お互いに緊張しすぎて利用者、受講生共に事故のないように十分注意してください。

④実習レポートの作成は3科目/1枚です。

・難しく書くことはありません。レポートの課題に沿った内容で。字数が少なすぎ、字が薄くて・汚くて読めないことがないように気をつけ全体の8割以上は記入して埋めてください。・個人情報にかかわること・誹謗中傷は書かないでください。

・内容

・**移動時の介護技術（2h）**…車椅子などで外出また移動した際の、介護技術・気づいたこと・留意点等を書いてください。(外に行けない場合は、家の中での移動の方法を書いてください。)

・**基礎的な介護とコミュニケーションの技術（5h）**…主に在宅でどんな方法で介護しているか、コミュニケーション方法、その介護技術・気づいたこと・留意点等のみを書いてください。

・**重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場実習（3h）**…多少内容が「基礎的な介護とコミュニケーションの技術」とリンクしてもかまいません。基本的に実習先の利用者宅のその様子、バリアフリーの工夫やヘルパーの派遣状況、どんな生活等。

実習レポートの確認について、

- ・ 実習レポート3枚に「実施日」「開始時間」「終了時間」を記載してください。(時間はその日の実習開始&終了時間)
- ・ 「利用者」「実習担当者」の確認の欄があります。実習が行われた証明となるため、必ず確認の上、印鑑またはサインをしてください。

⑤実習レポートの提出について ※実習レポートは実習時間中に、実習レポートを記入、作成、提出をしてください。

(何を書いたらわからない部分は、利用者、実習担当、拓人こうべ担当者に相談してください。)

- ・ 実習レポートの提出後より修了証発行になります。

※記入済みの実習レポート(必修)は、実習終了間際すぐに郵便にて拓人こうべ担当者までお送りください。

⑥その他

資格取得日について：

実習が終わり、実習レポート提出したら、重訪問従業者養成研修従業者(基礎&追加)過程の資格が取れます。

18:00に実習終わって実習中にレポートもすぐに提出すれば、18:00より、資格者として制度を使ったヘルパーとして稼働できます。

※資格証は、後日郵送いたします。